



昭和十四年 五月 六日

理研から旅費を出すと云ふは何心と云ふも、思ひます。今も所内の人と話して見た。

仁科芳雄

財団法人 物理化学研究所
東京市本郷區駒込上富士前町卅一番地
電話大塚自三三二番一室三二五番
七九

YHAL
C39N06

昭和十四年五月六日

東京市本郷區駒込上富士前町卅一番地
財団法人 理化学研究所

仁科芳雄

湯川秀樹君

先日ハ御返答リ愉快ヲシタ、
 独乙ノ Manuscript ニ於テ物理学學會並ニ Munich ノ物理
 學會共ナルベク出席シタガ好イト思ヒマス。後者ノ
 申込書ハ様ナモノハ小生ノ所ニモ来テ内容が解リ
 マシタ、コレモ今カラ申込ンテ置カレタラ好イト思ヒマ
 ス、ナルハ多クノ人ニ接シテ置クコトハ將來ノ為メ必
 要ト思ヒマスカラ、
 1. コレ等ニ出席スルタメニ七月七日ニ出発スルカ好イト思
 ヒマス。米國經由ト費用ノ方が如何カト思ヒマス、

No. 2

昭和
年
月
日

郵船会社へ拂う方ハ玉内ノ問題
 便員金ノ差ハ問題トナリマセン、外玉へ拂う金ハ米
 国經由ノ方が多イノテ此矣カ問題外ト思ヒマス、
 七月七日ト云へハ大學ノ方ハ最早休職テスカウ
 七月廿六日ニ立ッノモ七日ニ立ッノモ大學ノ方ハ差ハナイト思ハ
 レマス、サウスレハ^冊外玉へ支払ノ金ヲサクスルタメニ請
 国丸ヲ立ッテハトウテスカ、ソレテ歸リヲ米國經由ニ
 スルカ好イト思ヒマス、
 次ニ外玉行ノ旅費ノ件テスカ小生ノ考へテハ個人
 ヨリハ^冊團體カ更ニ好イノハ大學テ出シテ費ッ方
 加好イノテハナイカト思ヒマス、勿論先方ノ人ニヨルコ
 トテスカ小生ノ考へテハナルヘク個人ニ世話ニナラヌ方
 加好イノテハナイカ^{テニヨリカ}トス、
 今度ノ招待ハ勿論

No. 3

昭和
年
月
日

個人的ノモノテスガ學研が大蔵省ノ許可ヲ得ル立
 テ前カラ云ヘハ宿弊ハ國家的ノモノテスカラ 國家ガ
 出スノ加當然テス^然大學ヤ學研ガ堅固ナノテ
 スカラ 學研ノ様ナ公共團體ガ出シテ好イト思ヒ
 マス、然レコレハ結局趣味ノ向題テシヨウ、小生ノ
 趣味カラ云ッテナルヘク個人ノ専攻ニテ又方ガ好イ
 様ナ氣カシマスガ 各人趣味ハ異ッテ居マスカウ 御
 考ヘニ任セマス、

只小生ガ 學研ト云ヒ出シタノハコンナ例ヲ用イテ置ク
 ト 將來若イ人ガ又コンナ場合ニ遭遇シタ片 都合
 ガ好イト思ッタカラテス、 先例ニ従ッテ又 學研カラ出
 シテ世貞ヘルカラウト思ヒマス、 勿論其時ノ 學研ノ経
 済状況ニモヨル事アリヨウガ 兎モ角 今日ノ 學研

No. 4

昭和 年 月 日

レテコレヲ指し出さるカニアリマス

ノ状態テハ恐ラクハ同軍ニ出シテ世貞ヘルト思ヒマス、
 長岡先生其他ノ人々モ承諾シテ下サツタ事デスカ
 ラ所長ノ承諾ヲ経レバソレテ美事論イマス。コレハ
 所長ガ小生ト入レ替リニ旅行ニ出ラシテ^五月十五日
 テナクテハ勿ラナイノデソレ近待ワテ長ルヨリ外ナイト
 思ヒマス、ソレテサニモ曉ラハナイト思ヒマス。然レハ
 木サニガソチラテ出シタ方ガ好イト云フ御考ヘナラハ
 或ハソノ方ガ好イカモ知レマセンカラヨク御相談ナ
 サイ、コチラハ 理研カフ出ス^一ハ同軍ト思ヒマス。
 ソレヨリモ問題トナルハ大藏省ノ許可テコレハ學研
 ノ手ヲ煩ハスヨリ外ナイト思ヒマス。本邦委員ノ
 辞令ハモウ来マシタカドウテスカ、此方ノ手流ヲ急グ
 必要ガアリマス。要スルニ旅費ノ出ルコトハ心配アリマセン。次ノ問題ハ如何ニ

No. 5

昭和 年 月 日

以上テ外玉行ノ事ハ終リトシマシテ次ニ先日モ致シマシ
 タガ今度文部省ノ研究費ノ件デスカ小生等ニモ
 交付サレル可能性カアルカラ出シテ見ヨト云フテ
 ソレデ小生ノ希望ハ将来原子物理学ノ研究所ヲ
 没セル下準備トモナルトモカク申シ出シテ見セウ
 カト思ッテ居マス、ソノ際理論モ包含メタモノニシタイ
 ト思ヒマスカラソノ方ハアタノ御協力ヲ願ヒ被イ
 ト考ヘテ居マスガ御承認如何デスカ、ソマリ目下ノ
 小生ノ考ヘテハ実験ノ方ハ理研ノ原子核実験室ノ
 西川サン、中泉サンノ協力ヲ願ヒ理論ノ方ハアタノ
 御協力ヲ得テ原子核物理学ノ基礎的研究ヲ
 シタイト云フテ文部省ニ申シ出サカト思ッテ
 居ルデス御賛同ヲ得ルハ好都合ト考ヘマス、

No. 6
 此が通シ理論ノ方ノ人件費モ此方カウ出セマス、
 又御互ニ會合シテ理論ヤ実験ノ催進ヲ計ル
 コトモ今ヨリモ更ニ好都合トナリマセウ、ソレテ
 日本全体ノ水準ヲ上げ得ルト確信シテ居マス、
 以上ハ目下ノ所業ヲ未だ西川、中泉両氏ニモ注
 シテ居マセンカラコレハ發表シナイ標ニシテ下サイ、
 又場合ニヨツテハ 原子核研究室ヲ基礎トシテ
 イテ仁科研究室ヲ基礎トシテアタト小生ト名滿
 テ申出テモ好イト思ヒマス、當局ハ此方ヲ support
 居ルノテス、~~此~~レニシテモアタノ御協力ヲ切要トシマ
 スカラ御賛同ヲ得タイト思ヒマス、ソノ上テ具體的
 ノコトヲ考ヘマセウ、要スルニ當局トシテハ三百万円ヲナル
 ベク効果的ニ費フ為ニ方々ニハラマカナイテ一所ニ集

昭和 年 月 日

No. 7

申シタイト云フ方針ヲレイカラナルベク有力ナ研究方法
 ヲ実施スル所へ金ヲ交附スルヤウデス、^從此ニ適スル
 ヤウナ有力ナ研究組織ヲ申出シハ好イト思ヒマス。
 前ニモ申シタ通りコレハ未ダ野ノモノトモ山ノモノト
 モ解ラナイノデスカラ誰ニモ決サナイヤウニシテ下サイ、
 尚谷川氏ノ俸給ノヤウナノモ勿論コシナ方カウ出セハ
 好イノデスカ未ダ成立スルカドウカ知レナイノデスカラ
 今年外々ハ學振ノ方へ出シテ置イタカ安全ト思ヒ
 マス、
 孰レニシテモコレニ関スル御意見御知ラセ下サイ、御替々
 同テアレハ愈々具体的ノ案ヲ立テル必要ガアリマスカ
 ラ一頁御上系ヲ頼~~ル~~ハネハナラヌカト思ヒマス、
 トモカワ御考ヘヨウタイタニシマセウ

毎

昭和 年 月 日